

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1251号	氏名	金ヶ江 光生
論文審査担当者		主査教授	進藤 裕幸
		副査教授	柴田 義貞
		副査教授	森 望
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は主観的健康観と各種身体機能を年齢層別に分析しその関連性を検証しようとする研究目的は妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 新しい自己の評価概念である主観的健康観と各種身体条件や身体機能を厳密なる聞き取り調査を基に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、年齢層によって関連する身体機能との相関性が異なっていること、特に中年者における主観的健康観の存在意義を客観的に示唆した結果は、今後 QOL の改善や要介助高齢者の減少化への具体的な介入に向けての疫学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は中年ならびに高齢者の QOL 改善と要介助者の減少に向けての疫学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			